



# 千葉市立貝塚中学校 学校だより

校訓： 自主・創造・練磨

第22号

令和4年3月14日発行

千葉市立貝塚中学校

TEL231-7077

## ◆第36回卒業証書授与式◆

春が待ち遠しい季節となりました3月11日（金）、第36回卒業証書授与式を無事に終えることができました。相変わらずのコロナ禍で、来賓や在校生の出席は叶わなかったもの、お陰様をもちまして、心温まる式となりました。

（卒業証書授与式 校長式辞より）

暖かい日差しの差し込む日と、まだ冷たい空気に覆われる日とを繰り返しながら、季節は確実に春に向かっていきます。本日、この佳き日に、本校第36回卒業証書授与式を挙行できますことを、心より感謝申し上げます。

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。3年間の学校生活を無事に終えられたこと、心よりお祝いします。

保護者の皆様には、お子様が九年間の義務教育を無事に終えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。中学校の3年間は心も身体も急速に変化することから、戸惑い、ご苦労されたこともあったでしょうが、皆様の慈しみによって、ご覧のように心身ともに大きく成長しました。そして、今、皆様の心の中は大きな感動に満ちあふれていることでしょう。改めまして、そのお喜びに対し心からご祝福申し上げます。

このところの2年の間、新型コロナウイルス感染症対策で、多くの学校行事が削減、変更となりました。中学校時代の貴重な経験をさせてあげることができず、大変心苦しく思い続けた2年間でした。しかし、こうした中でも、社会情勢や周囲の状況を的確に判断し、慌てることなく、落ち着いた学校生活を送っている皆さんを見て、とてもたくましく思いました。

さて、貝塚中学校を巣立っていく皆さんに、ひとつお話をしたいと思います。これから皆さんが出ていく社会は、情報化、グローバル化、人工知能の発達などの社会的変化は加速度を増しており、予測困難な時代を迎えることが予想されます。未来の社会においては、一人一人が持続可能な社会の担い手として、個人や社会の成長のために必要な新たな価値を生み出していくことが求められています。多くのものが変化をしても、変わらないものと変えてはならないものがあります。これを、不易と流行と言います。

不易とは、いつまでも変わらないもの、流行とは不易の中に新しい変化を取り入れることを指す言葉です。そこで、いつの時代にも変わらない気持ちとして、卒業に向けて、卒業文集に Walt Disney の4つのCを載せました。

「Curiosity - 好奇心」

「Confidence - 自信」

「Courage - 勇気」

「Constancy - 継続」



の4つの「C」です。

この4つがあれば、これから訪れるどんな社会でも、乗り越えられるはずです。

これからの数年間は、心や体を鍛える大事なときです。是非、様々なことにチャレンジする気持ちを忘れず、頑張ってくださいと思います。

さて、4月からは、自分が選んだ新しい進路先での生活が始まります。新しい進路先の生活では中学校とは違う場面が多く出会い、戸惑うこともあるでしょう。しかし、皆さんは、中学校で多くのことを学び、様々な体験を通して社会生活に必要な術（すべ）を身に付けてきました。本日の卒業を新たな出発点として、更に心豊かでたくましい人間となることを強く希望します。

それでは、卒業生の皆さん。名残惜しいですが、お別れです。それぞれの進路先における皆さんのご活躍を祈るとともに、再びお会いできる日を楽しみにしています。

結びに、本日ご臨席賜ることはできませんでしたが、地域ならびに関係者の皆様にご心より感謝申し上げますとともに、本日ご列席の皆様のご健勝を心からお祈りし、卒業生の前途に幸多かれと祈念しまして、校長式辞といたします。

令和4年3月11日

千葉市立貝塚中学校 校長 北島 啓行

### ◆3年生を送る会◆

3月4日（金）に3年生を送る会を実施しました。今年も全校生徒が体育館に一堂に会することができないので、各教室でリモート参加という形でした。1，2年生が卒業する3年生に喜んでもらおうと、工夫を凝らした発表を行いました。1年生は卒業生に向けたメッセージ、2年生はドラゴンボールをモチーフにした劇で、3年生の入学からこれまでの思い出のシーンをビデオ録画し、全校で鑑賞しました。

また、昇降口にはおめでとう装飾、廊下には卒業生に向けたメッセージが飾られました。



【昇降口の装飾】



【メッセージカード】



【記念品贈呈】